

＝執筆者紹介＝

- 宮川英一 立教学院史資料センター助教・センター員
2014年 専修大学大学院文学研究科歴史学専攻博士後期課程単位取得満期退学
論文「奉天における朝鮮人の国籍をめぐる問題：一九二七年末の瀋陽県・新民県の事例分析」（『専修史学』第47号、2009年11月）
「一九二〇年代後半期の在満朝鮮人と国籍問題：在奉天朝鮮人の対応を中心に」（『専修史学』第58号、2015年3月）
（幸野保典氏と共同執筆）「営業税課税標準申告書綴からみる川越地域経済と営業者の納税額の階層別分布：1917～1924年の営業税データを中心に」（『立教経済学研究』第71巻第1号、2018年7月）など
研究ノート「経理課所蔵資料「収納簿」から見た立教大学学生・生徒の財政者数推計（1）—1923年度より1930年度まで—」（『立教学院史研究』第18号、2021年2月）

- 太田久元 立教学院史資料センター助教・センター員
2015年 立教大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程修了博士（文学）〈立教大学〉
単著『戦間期の日本海軍と統帥権』（吉川弘文館、2017年）
資料紹介（横島公司氏と共著）「「有賀千代吉関係資料」をめぐる基礎的考察（1）—「戦犯」たちとの書簡を中心に—」（『立教学院史研究』第18号、2021年2月）
ほか